

**日本共産党**

高槻市議員

**きよた 純子**



2022年7月26日

8月号 NO.111

発行：日本共産党高槻市議員団 きよた純子

連絡先：議員団控室（市役所内）

TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

# 物価高騰から国民のくらし守れ

## 賃上げ・消費税減税を

世界的な物価高騰のなかで、欧米では、最賃を引き上げる国が相次ぎ、円換算でドイツはおよそ1600円に、イギリスはおよそ1500円に引き上げています。日本でも、賃金を大幅に上げ、家

計をあたためることが求められています。日本共産党は、消費

75歳以上医療費の2割負担中止、大学の学費半額などが必要です。

税減税・インボイス中止を求めています。内閣留保課税で大企業優遇の不公平税制をただし、政府の責任で賃上げを推進。年金減額や

75歳以上医療費の2割負担中止、大学の学費半額などが必要です。



## 感染者連日最多

国内では23日、新たに20万975人の新型コロナウイルス感染症が確認されました。これ

までで最も多かった22日の約19万5000人を上回り、4日連続で過去最多を更新してい

ます。感染の急激な広がりに歯止めがかからない状態が続いています。

## 医療・検査・保健所体制の強化を

病院のベットを増やし、誰でもどこでも検査が受けられる検査所をつくり、感染者への対応をする保健師の人数を増やすことなどが求められています。

として中等症以上の患者（酸素吸入が必要だったり、肺炎になった人など）に限定しています。また、病院のベットを増やすどころか、コロナ禍のもと394床の急性期病床を削減。22年度も慢性期を含め849床の削減を計画しています。

員団の「病床削減やめよ」の質問に、吉村知事は「引き続き推進」と答弁しています。第6波でコロナ感染の死亡者が全国で一番多かつた大阪。府民の命がかかっています。国も府も第6波での対応を反省し、医療・検査・保健所体制の強化に取り組むべきです。

## 新型コロナ「第7波」、物価高から市民のいのちとくらしを守るための要望

日本共産党高槻市議員団（7月26日市長に提出）

### 要望内容

- 1、新規陽性者のファーストタッチを65歳以上に限定せず、全感染者を対象にすること。
- 2、無料検査所を高槻市でも設置すること。また、検査所に行けない家庭には検査キットを配布すること。
- 3、感染者の急増を受け、保健所の体制や自宅療養者への支援を強化すること。
- 4、ひとり親家庭など生活困窮者への食糧支援に取り組むこと。夏休みになり、学校給食がなくなり十分な食事ができなくなるので早急に実施すること。
- 5、物価高に加えて猛暑に対応する支援が必要です。生活保護世帯や困窮世帯に対して夏場だけでも電気・ガス等料金への補助を行うこと。
- 6、市内事業者に対して、事業者応援給付金を実施すること。
- 7、継続して公共施設のトイレに生理用品を置くこと。

阪では、7月15日に入院基準を変更しました。これまでの入院基準では、中等症以上の患者に加え、中等症の移行が懸念される65歳以上や基礎疾患があるなどリスクの高い軽症患者も対象でしたが、原則

### 9月議会日程

9月6日 (火)	本会議／提案理由説明
8日 (木)	本会議／質疑
12日 (月)	文教にぎわい委員会 福祉企業委員会
13日 (火)	市民都市委員会 総務消防委員会
21日 (水)	本会議／採決、一般質問
22日 (木)	本会議／一般質問

ぜひ傍聴をお願いします。  
※いずれも午前10時開会です。

# 高齢者福祉専門分科会に出席

(7月20日)

きよた純子の質問内容の一部を掲載します

## 日常生活自立支援事業

この事業は判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が、自立した生活が送れるように、利用者との契約に基づいて、福祉サービスの利用の援助を行うものです。高槻市では2021年度の利用者は87人で、前年度より12人増えています。それだけ、自立して生活できることが困難な人が増えているということです。

は可能ですが、厚生労働省の調査では、高齢者が介護施設に入所する際、身元保証人がない場合は受け入れを拒否する施設が約3割に

のぼることがわかっています。施設側としては費用の支払いや、死亡時の引き取りなどへの不安が根強いです。私は、市が身元保証をすること。終活支援の検討を求めました。

## 昨年8月に改悪の食費・居住費補助について

施設入所した場合の食費や居住費を補助する「補足給付」が、昨年8月に改悪されました。所得基準が厳しくなり補足給付を受けられなくなった人がいます。

制度改悪の影響を質問すると、高槻市は「2021年度の支出が前年度より約922万円の減少。支給件数は前年度に比べて125人の減少」と

の人に影響があったということ。補足給付の改悪は問題がありました。介護保険制度は、高い保険料を払っても、いざ使おうと思った時に使えない制度になりつつあります。このままでは、負担増とサー

## 介護職員不足の解決策を

2020年度の介護職員の有効求人倍率は4倍、訪問介護では15倍近くなっています。低賃金と重労働のため定着せず、訪問介護のヘルパーの高齢化も進んでおり、このままでは

は状況がさらに悪化していくことが懸念されます。政府の賃金引上げの対策では、介護職へはわずか月9000円の引き上げにとどまりました。全産業より月

9万円も低い賃金というのに、これでは不順分です。国にケア労働者の大幅な賃金の引き上げ、余裕のある人員配置を求めている必要があります。私は市が現場の実態や、他市の取り組みなどを調査研究し、国に必要な対策を求めることを要望しました。

## 戦意高揚宣伝を考える

7月24日、高槻革新懇の学習会「戦意高揚宣伝（プロパガンダ）を考える」に

その宣伝方法は変わらなるとの話しを聞き、戦意高揚のためのポスター、雑誌、映画館

宣伝により、国民同士で相互監視をするなど、戦争協力は自発的なものも多くあったとのこと。恐ろしいことです。

「我々は戦争をしたくない」、「しかし敵側が一方的に戦争を望んだ」と、ウクライナ侵略を行っているロシア、戦前の日本など、戦争しようとする国は今も昔も

戦前の日本での戦争（動画）をみました。動画は、戦死は名誉なことと学徒出陣、特攻作戦の飛行機を見送る様子などが流れました。

戦争を正当化する下で自衛隊は一人の戦死者も出さず、一人の外国人も殺していません。「日本を戦争する国にする逆流は許さない」の声を上げていきたいです。

一人暮らし高齢者が増えるなかで、入院や施設入所などで求められる「身元保証人」に困るケースがあります。基本的には身元保証人がなくても入院や介護施設などへの入所

制度改悪の影響を質問すると、高槻市は「2021年度の支出が前年度より約922万円の減少。支給件数は前年度に比べて125人の減少」と

の人に影響があったということ。補足給付の改悪は問題がありました。介護保険制度は、高い保険料を払っても、いざ使おうと思った時に使えない制度になりつつあります。このままでは、負担増とサー

673-0002 **生活相談 ☆ホットライン** お困りごとはありませんか？  
 日時：8月18日(木) 10時～11時半  
 当日は電話で相談を受け付けます。電話イラストの上の番号におかけください。 市議員 きよた純子